

JBpress オンラインセミナー  
第4回 法務・知財DXフォーラム

# 企業価値の持続的成長を支援する、 セイコーエプソン 知的財産本部の取り組み

2023年5月24日（水）  
セイコーエプソン株式会社  
執行役員 知的財産本部長  
小林利彦

## 「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。

そんな私たちが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。

これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、誠実に取り組んできました。

そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。

大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと思っています。

「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。

私たちは、そんな想いを実現していきます。



## 長期ビジョン「Epson 25 Renewed」

2021年3月、「持続可能でこころ豊かな社会の実現」に向けて「Epson 25 Renewed」を策定し、推進しています。



全社業績目標	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2023年度 (目標)	2025年度 (目標)
ROIC <sup>(1)</sup>	5.6%	7.3%	8%以上	11%以上
ROE <sup>(2)</sup>	5.9%	15.2%	10%以上	13%以上
RQS <sup>(3)</sup>	6.2%	7.9%	8%以上	10%以上

[https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/vision/#h2\\_01](https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/vision/#h2_01)

## 環境ビジョン2050

エプソンは、2008年に2050年をゴールとした「環境ビジョン2050」を策定し、その実現に向け環境活動を展開しています。





<sup>\*1</sup> 2030年度までにGHG排出量を200万トン以上削減(2017年度比55%削減)  
2023年までにRE100達成

<sup>\*\*</sup> 2021年の特許公開件数ランキング(当社調べ)(2021/11~12/31)

<sup>\*\*\*</sup> 2020年度比

<sup>\*\*\*</sup> 売上収益事業利益率

<sup>\*\*\*</sup> 投資資本利益率



## 社会課題



エプソンが貢献できる取り組むべき社会課題を特定



環境負荷の低減



労働環境の改善



分散型社会を  
つなげる



インフラ・教育・  
サービスにおける  
質の向上



ライフスタイルの  
多様化

## インプット



創業以来培ってきた「省・小・精の技術」をベースにイノベーションを起こす

## 「省・小・精の技術」



- マイクロピエゾ
- ドライファイバー技術
- ロボティクス
- マイクロディスプレイ
- センシング
- 半導体・水晶
- 超微細精密加工技術



## マテリアリティ



社会課題解決に向けて、エプソンのマテリアリティを決定



循環型経済の牽引



産業構造の革新

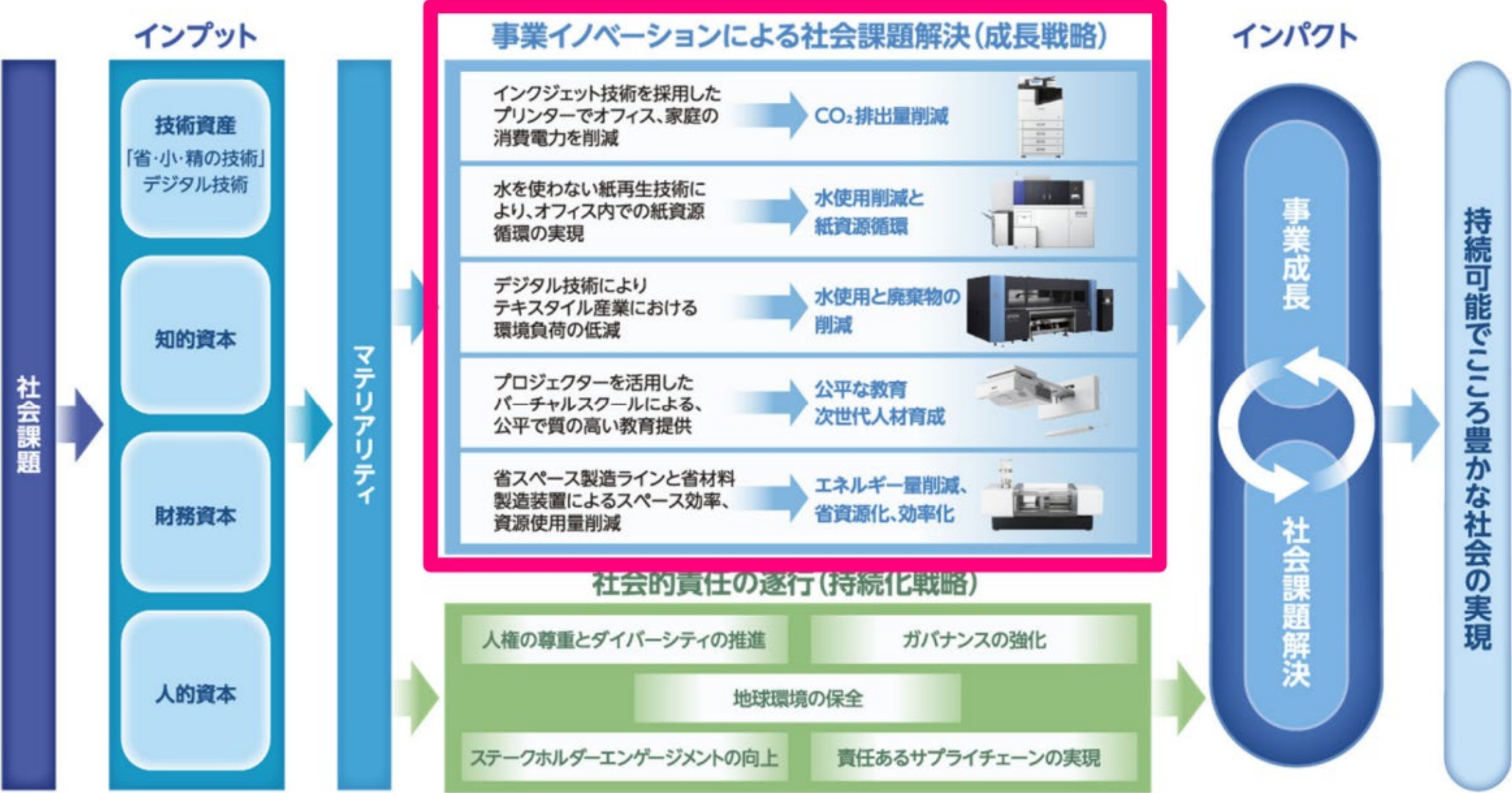


生活の質向上



社会的責任の遂行





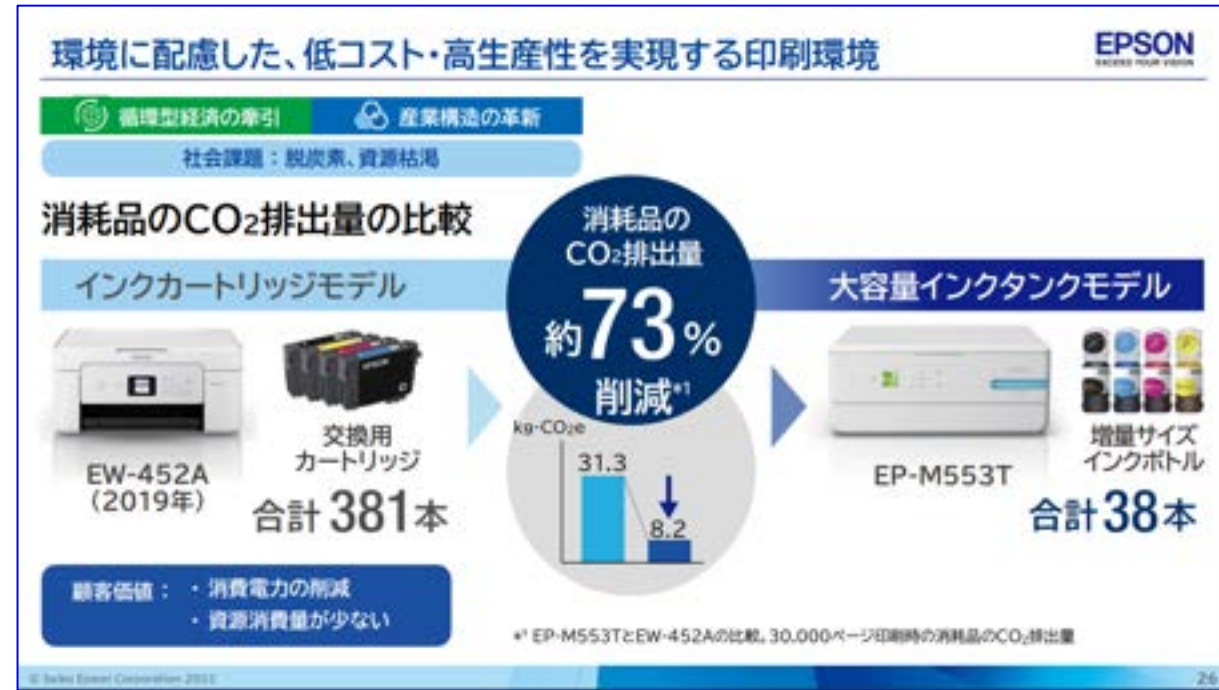


## 【オフィス・ホーム分野】

### ■レーザープリンター ⇒ 高速ラインインクジェットプリンター



### ■インクカートリッジモデル ⇒ 大容量インクタンクモデル



\* 高速ラインインクジェット複合機LXシリーズのTEC値とENERGY STAR®画像機器基準Version3.0にて定められた60ppm機のTEC基準値で比較した場合の削減比率。

**EPSON**

- 31

**EPSON**

- 3



## インクジェットプリンターと乾式オフィス製紙機が創り出す「環境配慮型オフィス」

エプソンは、オフィスで環境貢献効果を生み出す「環境配慮型オフィス」を提案しています。

熱を使わない、エプソン独自のインク吐出技術で、電力・廃棄物・印刷コストを削減するインクジェットプリンターと、水を使わない紙再生技術で、水資源の保全・森林資源の有効活用を実現する乾式オフィス製紙機との組み合わせにより効果を発揮するソリューションです。これにより、「紙」の利便性を活かしながら、オフィス内での紙資源の循環と、コストダウンやセキュリティ強化といったお客様価値を提供します。

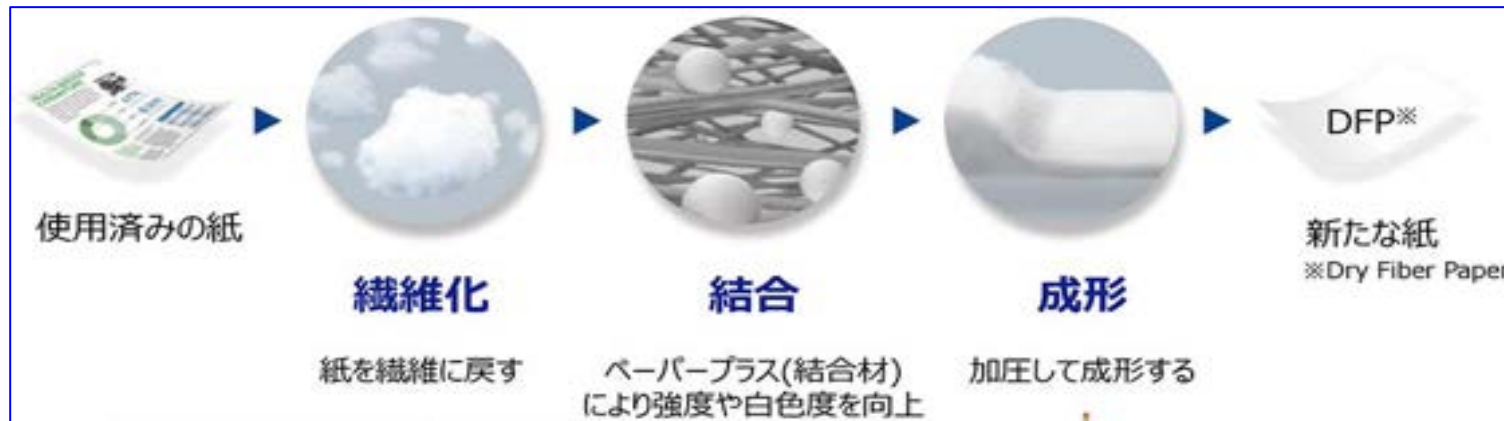


<https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/customers.html>

# ドライファイバーテクノロジー

※ エプソンホームページ「ドライファイバーテクノロジー」参照  
エプソンニュースリリース「朝日新聞社賞受賞」参照

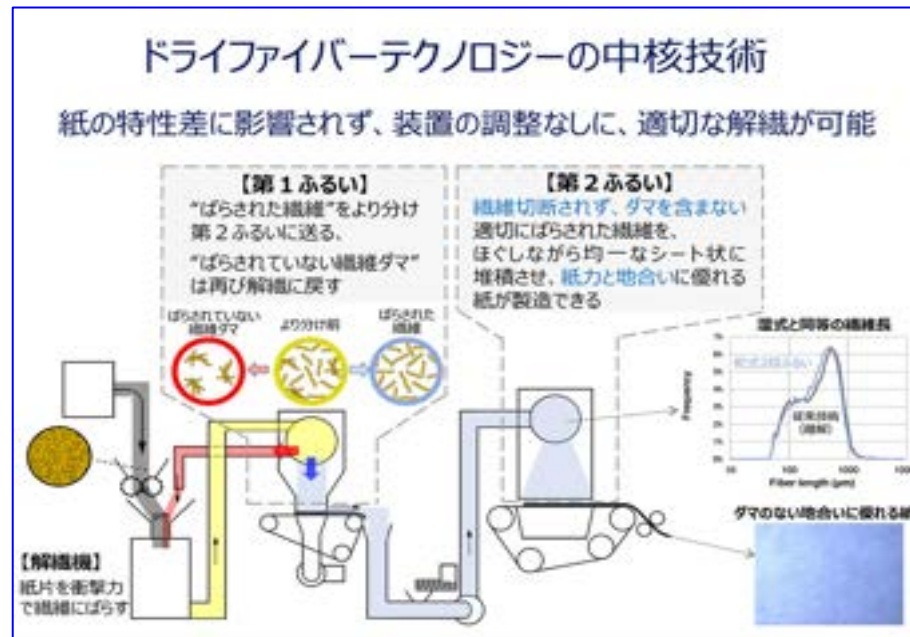
EPSON



紙再生技術が優れて革新的であることに加え、環境教育教材や環境政策のシンボルとしての活用、資源循環の意識向上に寄与していることなどを評価され、一般社団法人産業環境管理協会主催の「第1回エコプロアワード」(旧エコプロダクツ大賞)において、経済産業大臣賞を受賞しました。

<https://corporate.epson/ja/technology/search-by-products/other/dft.html>

## 令和元年度全国発明表彰『朝日新聞社賞』



<http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/zenkoku/2019/asahi.html>



## 「KAMIKURU(カミクル)」プロジェクト: <https://kamikuru.jp/>

地域で生まれる古紙の活用について、みんなでアイデアを共創し、アップサイクルして地域に還元するという「紙資源を地域で循環させる」取り組みです。ペーパーレス化が進み、紙の価値があらためて問われるいま、日ごろ使っている身近な紙からはじめる新しいチャレンジをきっかけに、地球環境・経済・社会のあるべき姿を地域の一人ひとりが主人公となって考え、持続可能な未来をめざしていきます。



「2021北九州SDGs未来都市アワード」の企業部門「SDGs大賞」受賞



### 北九州市での取り組み

国が推進する「SDGs未来都市」に選定されている北九州市での取り組み事例をご紹介します。

障がい福祉サービス事業所を運営するNPO団体「わくわーく」による使用済み用紙の回収、PaperLabによる再生紙生産、アップサイクル品の製作・供給を行うことで、「KAMIKURU(カミクル)」プロジェクトを実現させています。

## 【商業・産業印刷分野】

## ■ アナログ印刷 ⇒ デジタル印刷

### 省資源で効率的な生産・販売プロセス

EPSON  
EXCEED YOUR VISION

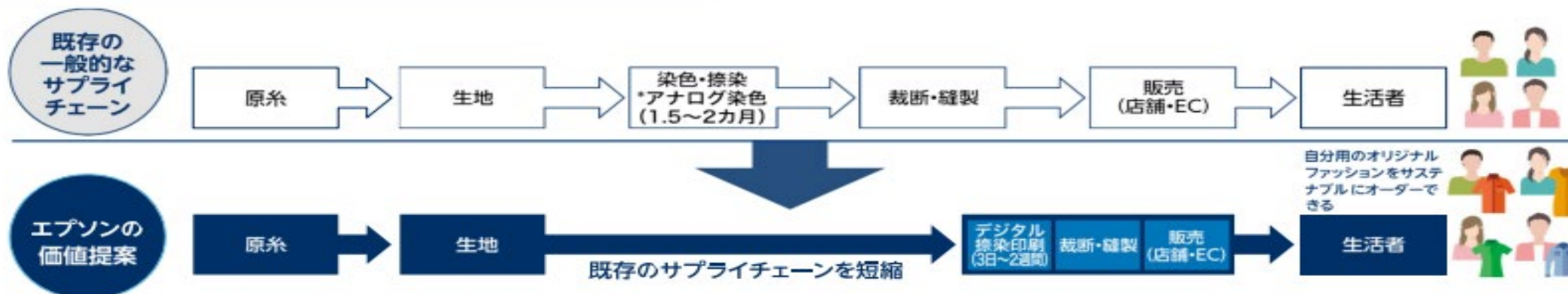


循環型経済の牽引



産業構造の革新

社会課題：資源枯渇、消費者ニーズの多様化、分散化



- 顧客価値：
- ・ デジタル捺染で生産工程を大幅短縮。少量・短納期で効率良く生産
  - ・ プロジェクターによる映像投写で、店舗の在庫・装飾物を削減



商品展示の例  
写真左) プロジェクションマッピング  
写真右) デジタル捺染プリント



## 省資源で高効率な生産・販売プロセスの実現



デジタル染色機 Mona Lisa



自分のオリジナルファッションをサステナブルにオーダー可能

消費者ニーズの多様化に加え、環境への配慮の重要性の高まりから、生産現場では多品種少量生産を実現する生産プロセスへの移行が求められています。デジタル捺染は従来のアナログ捺染と比較して生産工程を大幅に短縮できるため、多品種の商品を少量・短納期で効率よく生産を行うことが可能です。さらに、エプソンのインクジェットデジタル捺染は、独自のインクジェットテクノロジーにより精細なグラデーションや微妙な色調の再現が可能であるため、デザインの可能性を広げます。

## 省資源で高効率な生産・販売プロセスの実現



商品展示の例

左: プロジェクションマッピング

右: デジタル捺染プリント



サインージ用プロジェクター



デジタル捺染機 Monna Lisa

実店舗での商品展示をプロジェクターによる映像投射でサポートし、さまざまなバリエーションの商品の紹介と空間演出を可能にします。これにより、店舗で抱える商品の在庫や、空間演出用の装飾物を削減し、より、無駄の少ない生産から販売までのプロセスが実現します。

エプソンでは、デジタル技術を活用し、より省資源で高効率な生産・販売を可能とするソリューション提案を行い、持続可能な社会の実現に貢献していきます。





## プロジェクターへのレーザー光源の搭載

主に大きなイベントなどの演出で使われることを想定した高光束（高輝度）プロジェクターには、長時間安定して明るさや画質を維持できるなどの高い信頼性が求められます。また、このようなプロジェクターは、大ホールなど天井の高い場所に設置されることが多く、ランプ交換には手間と費用がかかります。

プロジェクターに約20,000時間の長寿命レーザー光源を搭載することにより、コンサート・イベントや会議中にランプ切れを心配する必要がなくなりました。

<https://corporate.epson/ja/technology/search-by-products/projector/laser-light-source.html>

## 令和3年度全国発明表彰『内閣総理大臣賞』

**令和3年度 全国発明表彰**  
**「内閣総理大臣賞」受賞**

公益社団法人 発明協会主催の令和3年度全国発明表彰において、「単一色のレーザー光源を用いた大光量高画質プロジェクターの発明」が「内閣総理大臣賞」受賞の栄誉に輝きました。当社における「内閣総理大臣賞」の受賞は1974年以来47年ぶり2回目となります。表彰式は6月22日（水）にオンラインで実施されました。

**発明の概要**

本発明はレーザー光源プロジェクターの発明です。まず、従来のレーザー光源を用いたプロジェクターでは、光源の寿命が短く、長時間安定して明るさや画質を維持できないという課題がありました。本発明は、単一色のレーザー光源を用いて、光源の寿命を大幅に延長し、長時間安定して明るさや画質を維持できることを実現しました。また、単一色のレーザー光源を用いて、光源の寿命を大幅に延長し、長時間安定して明るさや画質を維持できることを実現しました。また、単一色のレーザー光源を用いて、光源の寿命を大幅に延長し、長時間安定して明るさや画質を維持できることを実現しました。





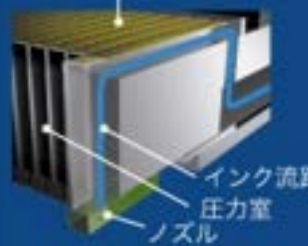

**発明実施効果**

本発明は、当社のレーザー光源プロジェクター（2015年発売）以来、当社の標準レーザー光源プロジェクターとして採用されています。レーザー光源プロジェクターはランプ交換が不要で、高輝度・高画質・長時間安定動作が特徴です。また、光源の寿命が長いため、光源交換の手間や費用を削減できます。さらに、本発明の実施により、光源の寿命が長くなり、光源交換の手間や費用を削減できます。また、光源の寿命が長いため、光源交換の手間や費用を削減できます。

単一色のレーザー光源を用いた大光量高画質プロジェクターの発明（特許第5928569号）

内閣総理大臣賞 発明者（VP企画設計部）：渡辺 隆史、佐々木 孝誠  
 発明実施功績賞 代表取締役社長 小川 泰範

<http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/zenkoku/2021/cao.html>

	製造技術	ヘッド断面 ノズル解像度	ピエゾ変位量 (比率)
第1世代 ペースト焼結ピエゾ ピエゾ素子：0.01mm 	精密機械加工	 120npi=0.21mm	1
第2世代 MACH: 積層ピエゾ 	精密機械加工 + MEMS	 180npi=0.14mm	1.5
第3世代 PrecisionCore ピエゾ素子：0.001mm 	薄膜 + MEMS  MEMS: Micro Electro Mechanical Systems	ピエゾ変位  300npi=0.08mm  npi: nozzles per inch	2.5

PrecisionCoreヘッドのノズル系は0.02mm（20um）



左：孔のふちがガタガタでまっすぐ噴射できないノズルの例  
右：エプソンのノズル。エプソンの高精度な加工技術により、きれいな真円でインクをまっすぐに噴射することを実現

## ピエゾ式プリントヘッド関係特許保有数



\* 2022年7月20日現在、エプソン調べ

\* 出願日2002年7月1日以降の日本、米国、中国、欧州登録特許件数



## プリントヘッド【インクジェット技術の進化】



- 耐久性・スケーラビリティ・インク選択の自由度が高く、どんな機種にも展開可能



「プリントチップ」を基本モジュールとして、ホーム向けプリンターからデジタル捺染機まで多様なヘッド構成をスケーラブルに低コストで実現

オフィス  
ホーム



高速  
インクジェット  
複合機



高速ラベル  
プリンター



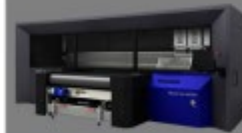
大判  
プリンター



インクジェット  
デジタル  
ラベル印刷機



インクジェット  
デジタル  
捺染機



ヘッドとインクであらゆるプリントを置き換える



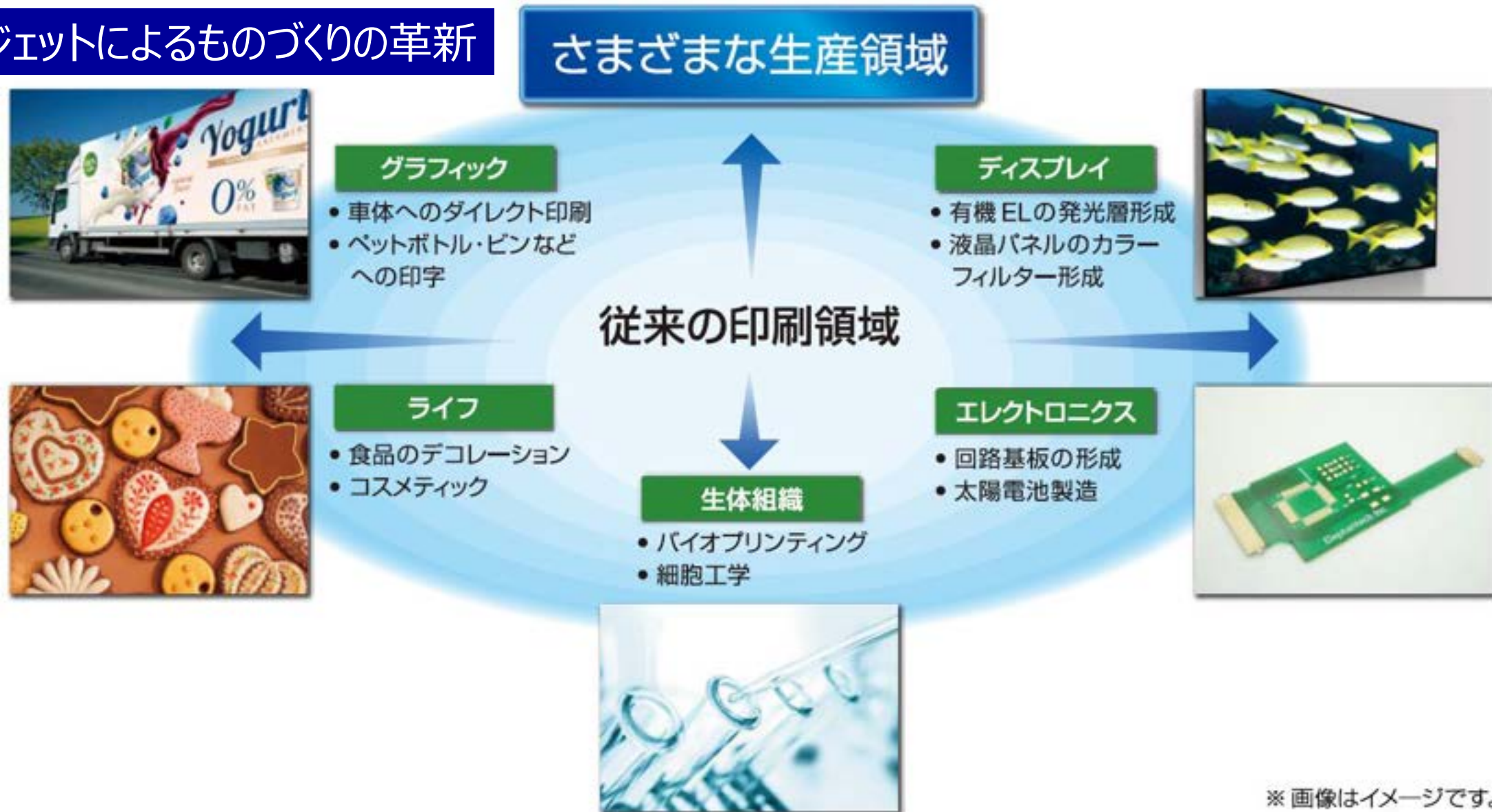
<https://www.epson.jp/osirase/2018/180709.htm>

# 第三者との共創による新規市場開拓

※ エプソンホームページ「PrecisionCore」参照  
エプソン「サステナビリティレポート2022」P.37参照

EPSON

## インクジェットによるものづくりの革新



※ 画像はイメージです。

<https://corporate.epson/ja/technology/search-by-products/prINTER-inkjet/precision-core.html>



# 第三者との共創による新規市場開拓

## スタートアップ企業への投資

### エレファンテック株式会社

**エプソンと東大発スタートアップ企業エレファンテックが資本業務提携**  
- インクジェットヘッド供給などでパートナーシップ契約締結 -

[https://www.epson.jp/osirase/2019/190730\\_2.htm](https://www.epson.jp/osirase/2019/190730_2.htm)

<https://www.epson.jp/products/inkjet/application/casestudy/>



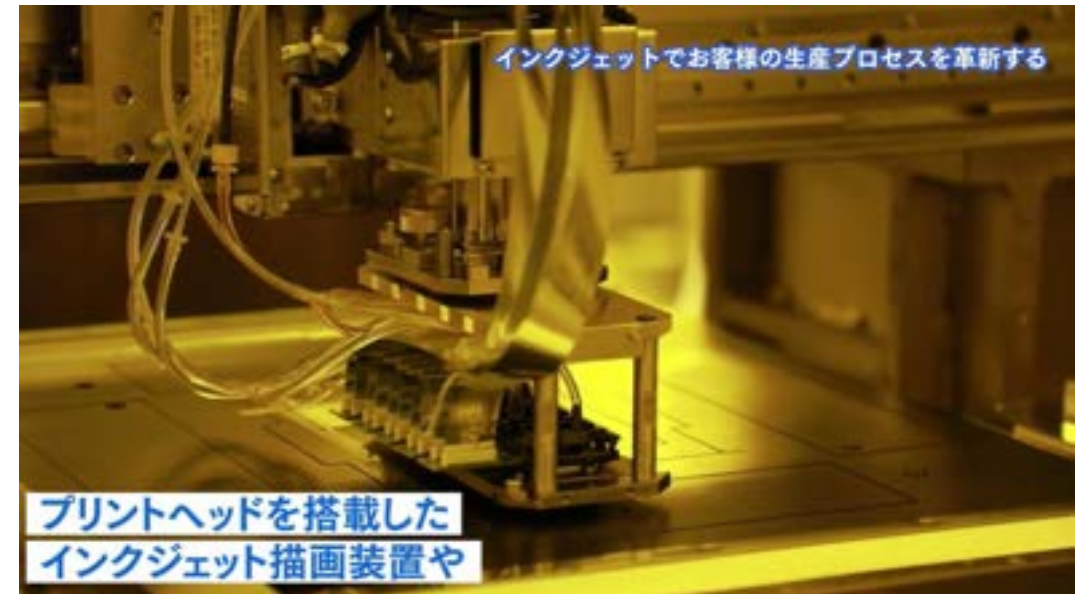
## オープンイノベーション

### インクジェットイノベーションラボ富士見

インクジェットによる新たなものづくりを目指す  
さまざまなパートナーとの共創拠点として、『インクジェットイノベーションラボ富士見』  
をリニューアルオープン(2022/10/26)

<https://corporate.epson/ja/news/2022/221026.html>

<https://youtu.be/NBkOUDbA45E>



# 成長戦略ストーリー 概観まとめ

EPSON

第三者との共創による新規市場開拓

エレファンテック株式会社



スタートアップ出資  
IJオープンラボ

ヘッド外販

豊富なラインアップ



商業・産業



オフィス

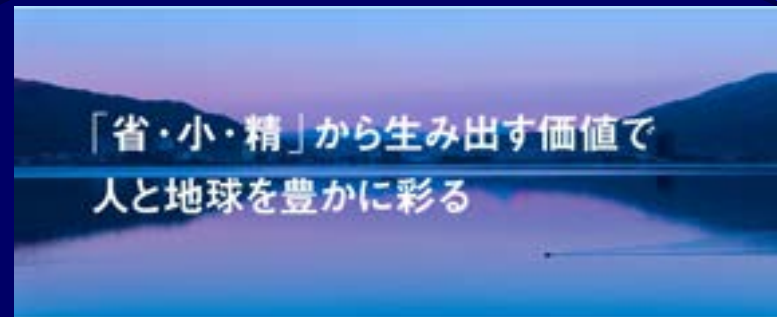


ホーム

微細加工技術



大規模設備投資



積極的な開発投資

特許

意匠

商標

契約

ノウハウ

ブランド



## Epson25 Renewed 達成に向けた 本部ミッション

知的財産権だけでなく、ブランドやデータ等を含む広い意味での「知的財産」を価値に変換し、企業価値の持続的成長の実現を支援する

### 知財活動の価値階層

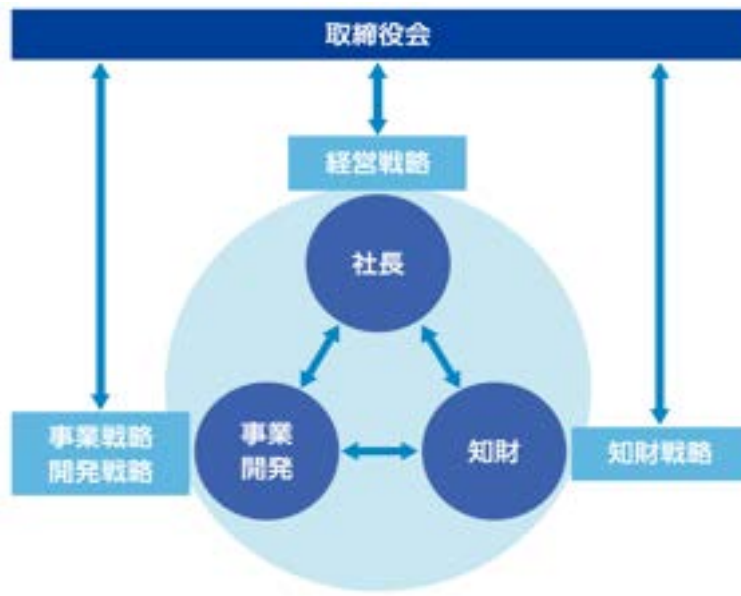


#### 価値階層『レベル5』

知財リサーチを通じて社会課題を解決するイノベーションの促進に貢献し、産業構造の革新と循環型社会の牽引にも貢献する



## 経営戦略、事業・開発戦略と知的財産戦略の統合



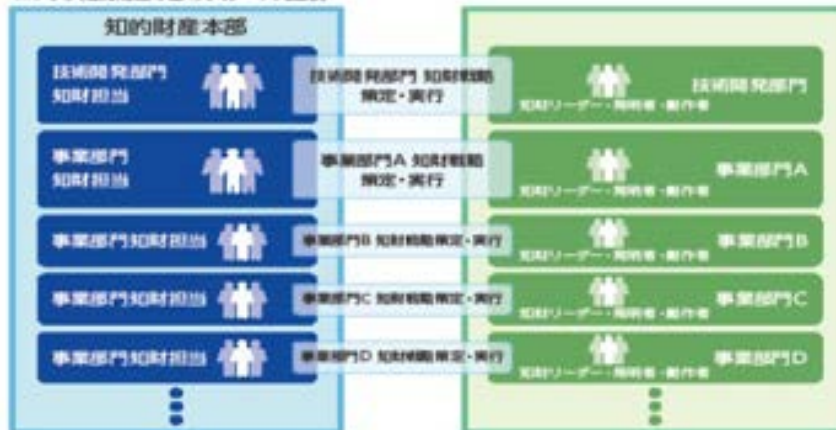
エプソンでは、事業ごとの「事業部長／開発本部長、知的財産本部長による2者懇談会」を定期的で開催し、さらに「社長、事業／開発本部長、知的財産本部長による3者懇談会」も開催しています。

このように「経営」、「事業・開発」、「知財」の3社の距離が非常に近い関係であることは、エプソンの知財活動の大きな特徴であり、エプソンの独自のコア技術を守るための開発戦略や事業戦略と連動した知的財産戦略を策定するうえで強みになっています。

また、策定した戦略を遂行するため、エプソンの知的財産部門は技術開発部門および事業部門のそれぞれに対応する知財担当を設置しています。さらに、国内関連会社・海外関連会社の法務・知財部門、営業部門と連携して、世界各地域の知的財産に関する課題解決や契約締結、模倣品対策活動などをマネジメントしています。

加えて、知的財産戦略については定期的に取り締役会で報告・議論し、戦略に反映しています。

エプソン知的財産本部のグループ内連携



エプソン知的財産活動のグローバル連携





## 「Epson 25 Renewed」と10年、30年先の目指す姿

エプソンが現在、設定している社会課題やマテリアリティの方向性は、2030年、2050年といった将来を見通しても、今後大きく変化していくとは考えにくく、「Epson 25 Renewed」で目指す「持続可能でこころ豊かな社会」の実現は、次期中長期経営計画においても変わらないのではないかと考えています。先々を見据えた取り組みとして、「Epson 25 Renewed」で分類した「新領域」の事業をエプソンの支柱事業に育てていくことが肝要です。経営資源の投入とともに、パートナーとの共創で確実なものとしていきます。現在、エプソンの知的財産活動への考え方は、以前とは大きく変化しています。自社の知財をいかに多く持ち、囲って、強みのある事業を展開していくか、というスタイルから、他社とエプソンが持つ知財を掛け合わせ新たな事業を生み出そうという意識の転換を図っています。社会においてどのような技術開発が行われ、企業はどのような力の入れ具合で取り組んでいるのか、情勢をしっかりと把握した上で、エプソンの強み、弱みを俯瞰的に把握し、私たちが取り組むべき領域や技術の見極めを進めています。こうした知的財産戦略は取締役会でも定期的に議論しており、新しい領域の事業開発に注力することで、「持続可能でこころ豊かな社会」の実現を目指します。

→詳しくは、P.35-36「知財戦略」を参照

## 機関投資家と社外取締役との対話



知的財産に関するガバナンスにおける取り組みや課題について教えてください。(松原)

**大宮：**エプソンの知財戦略は、良い方向に変わってきています。今まではどうプロテクトするか、クロスライセンスのような付加価値としてどう売るかに重点が置かれていましたが、最近はどのようにアライアンスを構築するかに重点が置かれています。知財に対し相手先がどのような周辺技術を持っているのかを調べた上でマッピングして、将来、例えば他社との合併など、ビジネスとしてどのように利益につながるかを分析しています。やはり知財とビジネスは絡み合っているわけですから、うまく連携していこうというのは良い動きです。

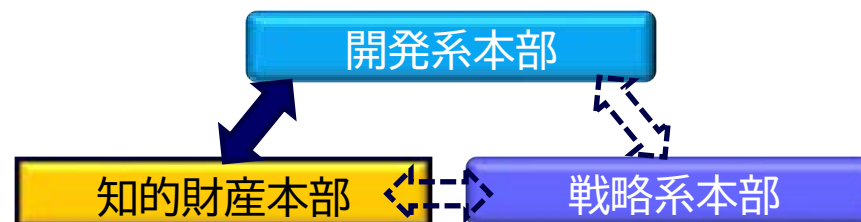
**白井：**知財に関しては、先ほど大宮さんが言われた通りです。さらに付け加えると、エプソンは知財マップから新しいビジネスモデルが生まれることまで想定しようとしています。私もかつて知財を担当したことがありますが、その経験も踏まえ、この動きは優れているなと思っています。

## 新規ビジネス創出活動の体制



① 提案型 IPランドスケープ

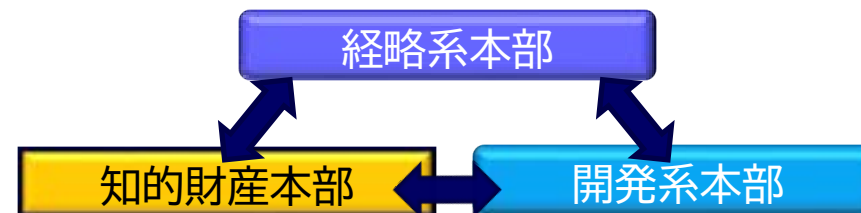
インバウンド



② 新規事業創出プロジェクトへの参画

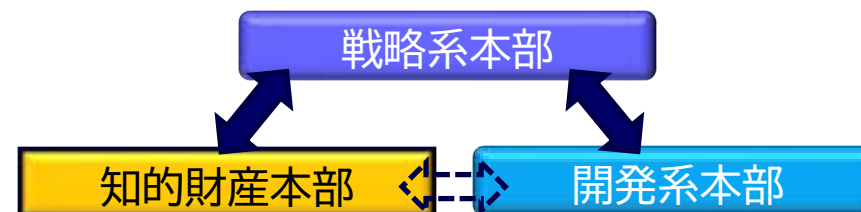
インバウンド

アウトバウンド



③ M&A、出資候補企業の知財評価

アウトバウンド





## 事業戦略・開発戦略に沿ったIPランドスケープ

知的財産本部内に調査専門組織を設置してIPランドスケープによるイノベーション支援を加速



一般に「IPランドスケープ」とは、「経営戦略または事業戦略の立案に際し、(1)経営・事業情報に知財情報を取り込んだ分析を実施し、(2)その結果(現状の俯瞰・将来展望など)を経営者・事業責任者と共有すること」と定義されています(特許庁「経営に資する知財情報分析・活用に関する調査研究報告書より」)。

エプソンのIPランドスケープで最も重視していることは、会社／事業／開発の方針決定に貢献することです。分析した結果を単に情報提供するだけでなく、何らかの意思決定につなげることを重視しています。

このような考えのもと、「Epson 25 Renewed」の重点事項である「環境」の技術開発を支援するIPランドスケープを重点的に実施し、結果を事業責任者へ報告し、開発戦略の意思決定につながる提言を行っています。

また、「共創」のパートナー候補を知的財産の観点から評価を行うIPランドスケープも実施しています。

🏠 生活の質向上

社会課題：ライフスタイルの多様化、健康管理

センシング技術とアルゴリズムによる  
パーソナライズされた保健指導の提供



🏠 生活の質向上

社会課題：安全管理、インフラ整備

多発する水害から住民を守るインフラ稼働に貢献



振動センサー (MA-A342VD10)

防じん防水 振動センサー (MA-A542VR10)

データ利活用ビジネスの一類型







## 意匠権

様々な設置環境にマッチするデザインでレイアウトが自由

エンドと本体が一体となったシンプルでスッキリしたデザインにより、お客様の環境に合わせた様々な設置環境にマッチします。

### 登録されたレイアウト意匠の紹介

SC-P8550D/T7750Dを用いたレイアウト意匠を紹介します。  
レイアウト意匠2件が新たに登録となりました。



② 日本意匠登録番号 1691267 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691357 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1689446 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691263 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1689447 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691269 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691268 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1689451 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691266 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691265 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691340 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1691341 (公開リンク)



② 日本意匠登録番号 1698704 (公開リンク)

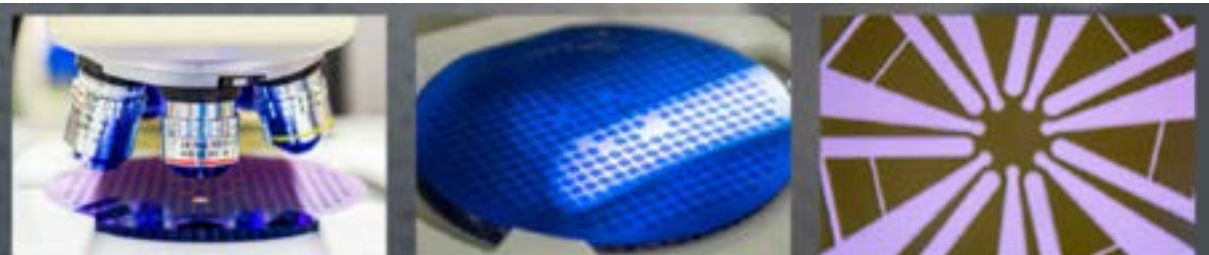
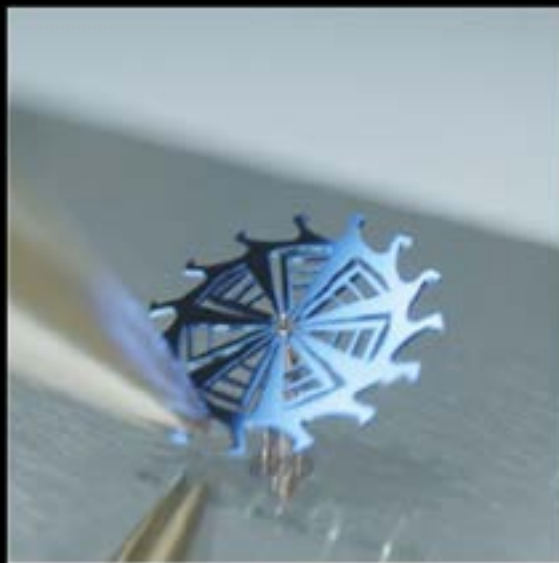


② 日本意匠登録番号 1698771 (公開リンク)

<https://corporate.epson/ja/technology/design/layout/>

## 特許権

シリコンがんぎ車。  
2021年誕生の46系F8ムーブメントには、エプソンのMEMS技術を応用したシリコンがんぎ車を開発。高い精度を実現し、70時間の長時間駆動を可能にしました。



※1 特許第6891622号 ※2 特許第6915602号 ※3 特許第6908064号

[https://www.orient-watch.jp/orientstar/brand-value\\_manufacture.php](https://www.orient-watch.jp/orientstar/brand-value_manufacture.php)

## 令和4年度全国発明表彰『文部科学大臣賞』

令和4年度 全国発明表彰

### 「文部科学大臣賞」受賞

文部科学大臣賞は、発明の功績が顕著な発明者に対して、文部科学大臣より授与される栄誉ある賞です。令和4年度は、全国発明表彰の文部科学大臣賞を受賞しました。

「文部科学大臣賞」は、発明の功績が顕著な発明者に対して、文部科学大臣より授与される栄誉ある賞です。令和4年度は、全国発明表彰の文部科学大臣賞を受賞しました。

「文部科学大臣賞」は、発明の功績が顕著な発明者に対して、文部科学大臣より授与される栄誉ある賞です。令和4年度は、全国発明表彰の文部科学大臣賞を受賞しました。

#### 発明の概要

本発明は、ヘッドを紙面上に正確に位置決めしてドットを形成するインクジェットプリンターの両方向印刷に関するものである。

両方向印刷は、高速印刷のためには必要だが、往復印刷と往復印刷に形成するドットの位置ずれにより、見た目の品質低下を招く。本発明は、往復印刷の往復印刷に形成するドットの位置ずれを抑制し、見た目の品質向上を実現する。

本発明は、往復印刷の往復印刷に形成するドットの位置ずれを抑制し、見た目の品質向上を実現する。

#### 発明実施効果

本発明により、往復印刷による位置ずれが抑制され、印刷品質が向上する。

本発明は、往復印刷の往復印刷に形成するドットの位置ずれを抑制し、見た目の品質向上を実現する。

#### インクジェット両方向印刷における印刷ムラ低減法の発明 (特許第4635762号)

文部科学大臣賞 発明者：エプソン株式会社 長谷川 俊明

発明実施効果 代表取締役社長 小川 昌範

令和4年度 全国発明表彰式 公明党議員 長谷川 俊明

表彰式に出席した長谷川 俊明氏



## Cカーブに沿った権利活用戦略

### 1. 非許諾領域(自社実施あり、他社実施なし)

競争力のあるコア技術の特許を取得し、他社には許諾しないことで、競争力の源泉であるコア技術を守ります。

### 2. クロスライセンス領域(自社実施あり、他社実施あり)

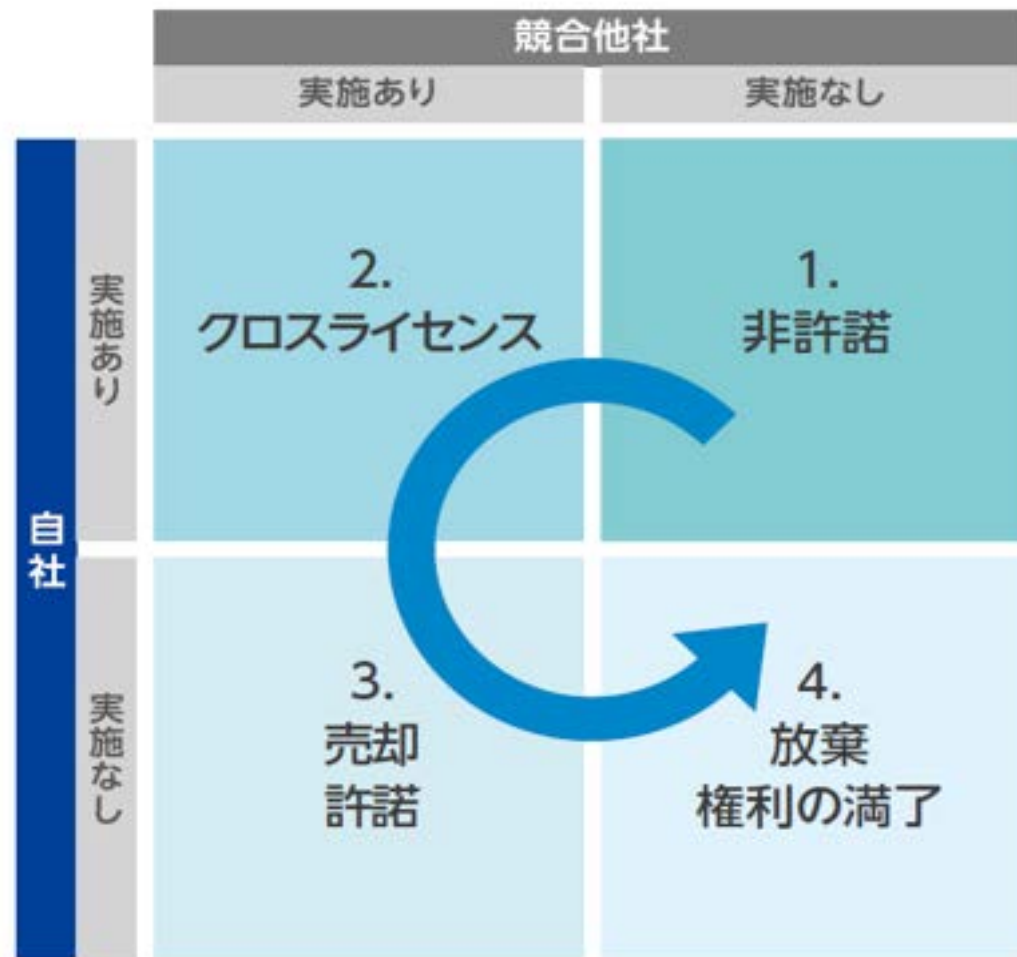
他社も実施したい特許を活用して、クロスライセンスなどを行うことで、事業活動の自由度の確保に努めます。

### 3. 売却・有償許諾領域(自社実施なし、他社実施あり)

クロスライセンス締結によって事業の成長に貢献してきた特許を他社に売却もしくは有償で実施許諾することで資金回収(収益化)を行います。

### 4. 放棄・満了領域(自社実施なし、他社実施なし)

特許権の保有コストを鑑み、権利の活用可能性が低下した特許を積極的に放棄します。



# バックオフィスの効率化の取り組み

## デジタルワークフローによる 電子回覧／電子確認

自社システムにて電子配信

画面からコメント入力

読込が必要な場合は印刷  
を許容し、読込後、即廃棄

捺印不要



紙ファイルの送受がなく、ロケーションフリーで迅速処理

## 電子サイン

画面上に譲渡証と宣言書が表示  
されるので、画面上でサイン入力



A I 翻訳  
活用可能性検討

<https://japio.or.jp/00yearbook/files/2022book/22 a 07.pdf>

リーガルテック  
活用可能性検討



※本日の説明は弊社からの発信情報に基づく説明となります。詳細は各ページ右上に「※」を付したURLリンク先のページをご参照ください。

※リンク先の主な発信情報は以下のとおりです。

- ・ エプソン「統合レポート2022」 [https://corporate.epson/ja/investors/publications/pdf/integrated\\_report/epson\\_ir2022\\_all\\_j.pdf](https://corporate.epson/ja/investors/publications/pdf/integrated_report/epson_ir2022_all_j.pdf)
- ・ エプソン「ESG説明会2022」 [https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news\\_221013.pdf](https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news_221013.pdf)
- ・ エプソン「サステナビリティレポート2022」 [https://corporate.epson/ja/sustainability/report/pdf/2022/epson\\_sr2022\\_all\\_j.pdf](https://corporate.epson/ja/sustainability/report/pdf/2022/epson_sr2022_all_j.pdf)
- ・ エプソン「オフィス・ホームプリンティング事業戦略説明会」 [https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news\\_221117.pdf](https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news_221117.pdf)
- ・ エプソン「商業・産業IJP(完成品ビジネス)スモールミーティング」 [https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news\\_211007.pdf](https://corporate.epson/ja/investors/pdf/news_211007.pdf)
- ・ エプソンホームページ <https://www.epson.jp/corporate/>

# EPSON